

朝の館内放送

令和5年7月3日

おはようございます、市長の中村健です。

今年度に入り、市の空き店舗対策補助金を活用し、2つの店舗が新たにオープンしました。

1つは飲食店、1つはアパレルショップですが、決して偶然の産物ではなく、これまでの中心市街地活性化の取り組みが実を結びつつあることの証拠だと考えています。

まずは、中心市街地活性化ビジョンの策定に先立ち、西尾駅周辺の公共空間で広く市民や来訪者を対象とした事業を実施する場合に、無償で使用できるようにする「まちなかにぎわいパートナー事業」を開始しました。

また、将来的に中心市街地での出店を検討されている方やまちなかを盛り上げたいという方が、お試し出店やイベント等の「場」として活用できるスペースとして、西尾駅西多目的防災広場にBOX PARK エキニシと題した仮設コンテナを設置しました。

これらの取り組みにより、まちづくりのプレイヤーとしての役割を期待できる人材の発掘や、将来的にお店を構えたいと考える潜在的なニーズの把握が一定程度できました。

そして、そこで得られた財産が今回の新規店舗のオープンにも繋がっています。

経済の発展や賑わいの創出のためには、新陳代謝が一つの重要な視点となりますが、西尾の中心市街地においては、新陳代謝に繋がる良い循環が起こり始めています。

空き店舗対策の効果として、1年で2店と聞くと、少ないという印象を受けるかもしれませんが。

しかし、それが継続できれば、5年で10店、10年で20店になり、そのインパクトは決して小さいものではありません。

西尾市の顔である中心市街地のさらなる活性化に向け、民間のプレイヤーとしっかりひざを突き合わせながら、引き続き知恵を絞っていきたいと思います。

以上で、朝の館内放送を終わります。